



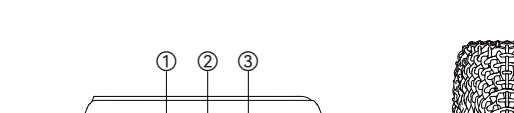
カラオケマシン

ユーザーガイド



KA06

特徴

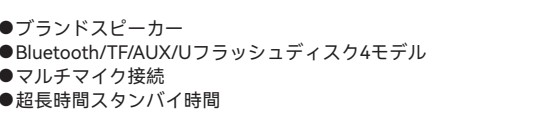


- **ホストボタン機能**
 1. 音量を上昇・短く押すと音量が上がり、長く押すと次の曲に進みます（音楽を最大に上げると「クラブ」の音が鳴ります）。
 2. 電源ボタン 2秒間押しするとオン/オフになり、短く押すと一時停止します。
 3. 音量を下げる・短く押すと音量が下がり、長く押すと電源がオフになります。
 4. オリジナル/バックボール・短く押すとオリジナル/バックボールが切り替わります（プレイボタンはオリジナルボールがオフ、長く押すとリミックスボールがオフの切り替わります）。
 5. 再生メディアスイッチ・短く押すと Bluetooth/VT 対応 USB デスク/AUX 再生モードの切り替わります。
 6. メイクスイッチ・短く押すと人間効果のオン/オフの切り替わります。
- **マイクボタン機能**
 7. 電源ボタン 2秒間押しするとオン/オフになります（押してはミックス/伴奏/歌唱曲の切り替わられるかどうかを確認します）。
 8. メイクボタン・短く押し続けてマイク音量を上げ、短押しで次の曲に進みます。
 9. マイクボタン・短押しでマイク音量を下げ、長押しで前の曲に進みます。
 10. ミックス/伴奏/スイッチ・短押しで各種類のミュージックサウンド（人声/原曲の歌/原曲のサウンド/歌唱曲）の切り替わります。プレイボタンは通常です。長押しでオリジナル歌唱/伴奏曲の切り替わります。
- **その他の特徴**
 11. AUX ボタン
 12. TF カード・スロット。MP3 オーディオ ファイルを挿入すると自動的に TF モードに切り替わります。
 13. 充電ポート・5V 充電ポート。
 14. USB ポート・MP3 オーディオ ファイルを挿入すると自動的に USB モードに切り替わります。
 15. スピーカー・インジケータライト。接続されていないまたは音のライトが常時点灯している場合は、充電中は音のライトが点灯し、充電中は音のライトが点灯し、充電中は音のライトが点灯し。
 16. タイプ C 5V 充電ポート

主な機能

- ブランドスピーカー
- Bluetooth/TF/AUX/フラッシュディスク4モード
- マルチチャネル接続
- 超長時間スタンバイ時間
- SD/フラッシュカード
- カラオケインジケータライト
- 持ち運びに便利なストラップハンドル

接続図



AUXオーディオ出力

DC5V1A

コンピュータのUSB充電

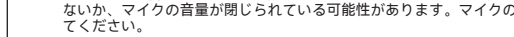
他のUSB充電

一般的な問題解決

1. インジケータライトが点灯しない場合は、スピーカーの電力が十分かどうかを確認してください。スピーカーを5V/1A電源に接続して充電してください。充電時間は約1時間です。
2. マイクが音を出さない場合は、マイクがオフになっていないか、モードが正しいかどうか、マイクの音量がゼロになっていないかを確認してください。マイクの音量を最大にします。
3. スピーカーに1バーブが点灯しない場合は、1バーブが点灯している可能性があります。マイクの1バーブを電源をオフにしてください。
4. スピーカー/マイクが音を出さない場合は、接続ケーブル、電源ケーブル、またはマイク/スピーカーに接続するケーブルを確認してください。マイクの音量を確認してください。
5. 双方再生が正常に作動しない場合は、Bluetoothが送信距離が遠すぎるか、接続されたスピーカーの間に電磁干渉に音響を発生させる障害物がある可能性があります。スピーカーを接続した障害物から遠ざけ、障害物を確認してください。
6. Bluetoothが接続できない場合は、距離が遠すぎるか、スピーカーと携帯電話の間に障害物があるか、そのスピーカーが他の機器と接続されている可能性があります。スピーカーを携帯電話に近づけ、障害物を避け、接続されている他の機器の電源をオフにしてください。
7. 充電できない場合は、充電ケーブルが正常かどうか、スピーカーの充電中に赤いインジケータが点灯するかどうかを確認してください。

製品パラメータ

- 製品名: カラオケマシン
- モデル番号: KA06
- スピーカー出力: 5W
- 動作温度: 50°F ~ 140°F
- 入力電力: 5V/1A



FC E C C PC

Made in China

FCC Warning:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution: Any changes or modifications to this device not explicitly approved by manufacturer could void your authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 0cm between the radiator and your body.